Global and Innovation Gateway for All
GIGA 通信
－児童生徒１人１台端末の日常的な活用に向けて－

発行元
佐野市教育センター
佐野市上羽田町 1134 番地１
電話　20－3108
20－3048(相談専用)

令和５年４月に、本市２番目の義務教育学校となる葛生義務教育学校が開校しました。開校から約６か月たった９月下旬に訪問させていただくと、早速、廊下で会った前期課程の児童たちが「こんにちは。」と元気に挨拶をしてくれました。子供たちや先生方の明るい声が新しい校舎に響き、学校の活気を感じました。葛生義務教育学校では、小中一貫校の強みを生かし、前期課程と後期課程が連携して学習指導の充実を図っています。また、１人１台端末等のＩＣＴを活用した授業づくりにも、積極的に取り組んでいます。今回の GIGA 通信では、後期課程の国語の授業での実践例を紹介いたします。

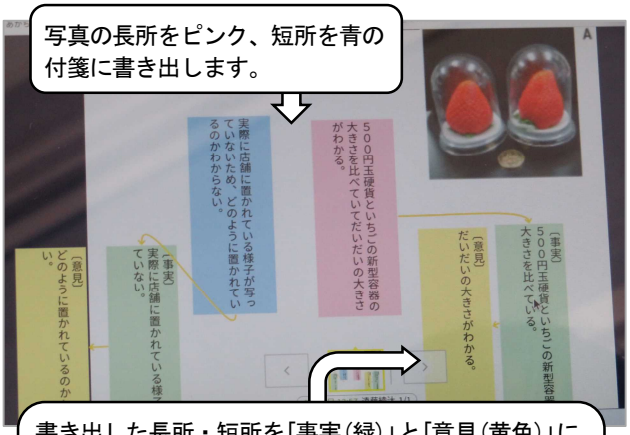
『小中の接続を意識した１人１台端末の活用』（葛生義務教育学校）

３月に閉校となった葛生地区の４小学校（葛生小、葛生南小、常盤小、氷室小）では、個の考えをグループで伝え合う学習を行う際に、ロイロノートを繰り返し活用していました。そこで、後期課程の国語科の先生は、７年生国語「根拠を明確にして書こう」で、意見文を書くための根拠を考える学習活動を行うにあたり生徒が使い慣れているロイロノートを活用して、以下のように授業を展開しました。

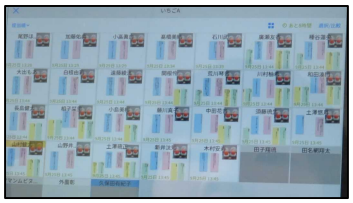
【本時の流れ（★：ロイロノート活用の学習活動）】
１．めあての確認
２．新聞記事を読んで、２枚の写真のどちらが記事に合っているか、自分の立場を決める。
★３．意見文の根拠を考える。選んだ写真の長所と短所を書き出し、それを「事実」と「意見」に分ける。
★４．各自が書き出した根拠を共有する。根拠に説得力があるか、グループで検討し手直しをする。
★５．グループで検討し修正した各自の根拠を共有し、読み合う。
６．まとめと振り返り

◇ロイロノートの付箋を使って根拠を考える

端末の導入前、意見文の根拠を考える活動ではノートやプリント、付箋などを使って考えを整理していましたが、本授業ではロイロノートの付箋を使い、それを色分けして根拠を考えました。生徒は慣れた様子で自分の考えを付箋に打ち込みながら、根拠を整理し、まとめていました。



◇ロイロノートで付箋を共有し、各自で考えた根拠をグループで検討し合う



授業の後半は、各自が書き出した根拠に説得力があるか、グループで検討し合いました。

生徒たちは共有された付箋を読み合い、「短所の根拠には事実が書かれていないので、付け足すとよいと思う。」、「意見の部分に主語が入ると、もっと分かりやすいと思う。」などとアドバイスをしたり、友達の考えを聞いて付箋に書かれたことを修正したりしながら、どうすれば分かりやすい根拠になるか一所懸命に考えていました。先生は授業を振り返り、「ロイロノートで考えを共有したり、グループでアドバイスし合ったりすることで、書くことが苦手な生徒も、諦めずに最後まで取り組むことができました。今後も、ロイロノートを要所で活用しながら意欲的に学習に取り組めるように工夫していきたいです。」と話されていました。